



発行元:神奈川県国民春闘共闘会議 横浜市中区桜木町3-9 TEL 045-212-5855 Email info@kanagawa-rouren.jp

各地域で工夫してとりくんだ第92回メーデー

第92回神奈川県メーデーが5月1日にとりくまれました。まん延防止等重点措置が発出されるなかで、式典を開催したのは横須賀三浦地区メーデーだけでしたが、WEB開催やスタンディング、宣伝などさまざまに工夫して行われました。

生中継で盛り上げ

川崎メーデーはWEBと川崎駅でのスタンディング・宣伝を同時並行でとりくみました。WEBメーデーでは、ホスト会場を設置するとともに、各労組の事務所や川崎駅前からの生中継で組合員が訴えるなど、リアルさや一体感を感じられる工夫がされました。川崎駅前には50人が参加し、市民も立ち止まって見るなど注目を集めました。

横須賀三浦地区メーデーは、例年よりも参加要請そのものを少なくし、来賓あいさつなども行わず短縮して実施しましたが、約200人が参加し、メーデーの意義を確認して団結を固めました。西湘地域メーデーは、小田原駅東口に43人が参加してスタンディング行動を中心にとりくみ、憲法リーフとティッシュも配布しました。

川崎メーデー



西湘地域メーデー



市長との懇談が実現

相模地域メーデーは16人が参加して橋本駅で宣伝行動。メーデー実行委員会として相模原市とハローワークに要請を行うことを決め、アポイントを取ったところ、5月20日に相模原市長と懇談できることとなり、直接要求を伝えることにしています。

湘南地域メーデーや厚木地区統一メーデーも、それぞれ藤沢駅・本厚木駅でスタンディング行動をとるくみ、鶴見地域でも独自のスタンディング行動を行われました。

相模地域メーデー



湘南地域メーデー



春闘ニュース



第20号

発行日: 2021/5/18

其の弐

発行元: 神奈川県国民春闘共闘会議 横浜市中区桜木町3-9 TEL 045-212-5855 Email info@kanagawa-rouren.jp

各地域で工夫してとりくんだ第92回メーデー

現在までに1600回超の視聴

県・横浜メーデーでは、若干トラブルで開始が遅れましたがWEBメーデーを開催。3人のMCの明るい軽快なやり取りで進行しました。

4人の国会議員などから動画メッセージ・祝辞があり、また8月の横浜市長選挙にむけて連帯して闘っていくメッセージも寄せられました。各組織からのアピールでは、建設労連・医労連・自治労連・全国一般の仲間が動画で訴え。コロナ禍において様々な職場・現場で奮闘している労働組合の役割が鮮明になりました。また、争議・裁判闘争を闘う仲間からの訴えもあり、支援を強めていくことを確認しました。

現在までに1600回を超える視聴となっています。内容は、神奈川労連HPからご覧いただけますので、ぜひアクセスしてください。

WEBとあわせて、12時から桜木町駅でスタンディング行動を行い、各組織から約90人が参加しました。通行する市民などに、コロナ禍での労働組合のとりくみを紹介し、労働組合に結集することなどを呼びかけました。



自治労連



建設労連



全国一般 横浜保育所分会



医労連





JFE職場を守る会・川崎駅宣伝

5月16日、「JFE京浜の高炉休止に反対し職場を守る会」として、川崎駅での宣伝をとりくみ約20人が参加しました。

職場の状況などを知らせるチラシを配布するとともに『京浜の高炉を止めるな！』などのボードを掲げてアピールしました。神奈川労連の山田事務局長は「JFEという大企業が一方的に高炉を休止、事実上の廃止をすることは許されない」、「労働者や下請け関連企業、地域経済に対し大企業として社会的責任を果たせ」と訴えました。

ある高齢男性は「本当に止まるのか？日本鋼管で働いていたが、このことは知らなかった」と声をかけてくるなど、何人も立ち止まって対話になりました。

JFEは高炉休止（廃止）を強行する姿勢で、すでに労働者に対する2回目の面談が行われ、遠隔地転勤ができない労働者などの退職が相次ぎ、他の事業所から応援が入る事態になっています。また、川崎市の対応も大きな問題があります。

「会」では、宣伝とともに職場労働者への働きかけや、行政への要請などを継続し、職場と雇用を守るとりくみを強めることにしています。